



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年5月15日

上場会社名 株式会社 京都ホテル 上場取引所 大
 コード番号 9723 URL <http://www.kyotohotel.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)平岩 孝一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)柳瀬 光義 (TEL)075(211)5111
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	2,374	—	△91	—	△185	—	△126	—
23年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	△12.28	—
23年12月期第1四半期	—	—

平成23年12月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成23年12月期第1四半期の経営成績及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	19,600	1,762	9.0
23年12月期	19,863	1,907	9.6

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 1,762百万円 23年12月期 1,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	—	—	3.00	3.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,040	10.3	220	—	44	—	5	—	0.49
通期	10,300	5.8	540	137.3	185	218.1	76	—	7.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年12月期1Q	10,338,000株	23年12月期	10,338,000株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年12月期1Q	57,754株	23年12月期	57,520株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期1Q	10,280,363株	23年12月期1Q	10,282,601株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを完了していますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災がもたらしたダメージから持直しの動きが見られる一方で、株価低迷の長期化や欧州財政危機の深刻化など、内外の懸念材料が重なり、景気全般の足取りは依然捗々しくないままに推移しました。

京都のホテル業界におきましては、国内観光客は復調の気配がありましたが、外国人観光客は円高基調の長期化もあり依然として厳しい状況が続きました。

当社ではこのような環境の中、カフェ「レックコート」の改装をはじめ、からすま京都ホテルの朝食会場新設、客室などの改修を進め、国内外よりお越しになるお客様や、地元京都のお客様にも常に「ワクワク感」を提供できるよう注力し、また2月より新規事業として京都府立医科大学付属病院の病院食事業という新たな分野を展開しております。

こうしたことの結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,374,707千円、営業損失は91,902千円となりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。なお、当社は当第1四半期より連結財務諸表を作成しておりませんので、以下の前年同期比は各期の単体決算に基づいて記載しております。

宿泊部門

京都ホテルオークラでは、1月、2月は国内エージェント経由の団体及び外国人旅行が伸び悩みました。3月以降は国内エージェント経由の団体・個人、外国人旅行、インターネット予約等が復調いたしました。販売単価減少などの影響もあり、売上高は前年同期比18,804千円減となりました。

一方、からすま京都ホテルは、国内エージェントの団体・個人の伸び悩みに加え、一部客室の改装により販売可能室数の減少もありましたが、外国人旅行に回復の兆しが見えてきたことや、昨年行ったロビー及び客室改装の効果もあり、売上高は前年同期比19,081千円増となりました。

この結果、全体の売上高は584,577千円（前年同期比0.05%増）となりました。

宴会部門

京都ホテルオークラの婚礼宴会は、件数は増加しましたが一組当たりの人数が減少し、単価も低下しました。また、一般宴会におきましても同様に、宴席件数は増加、人数が減少という傾向が続き、売上高は前年同期比11,168千円減となりました。

からすま京都ホテルは、一般宴会及び朝食が順調に推移したことに加え、イベント企画も好調であったことから、売上高は前年同期比7,254千円増となりました。

この結果、売上高は全体で866,922千円（前年同期比0.4%減）となりました。

レストラン部門

京都ホテルオークラでは、季節感あふれるメニューを取り揃えたほか、積極的な広告宣伝により鉄板焼「ときわ」、フレンチレストラン「ピトレスク」、トップラウンジ「オリゾンテ」が好調に推移しました。また、3月にリニューアルオープンしたカフェ「レックコート」も売上増に寄与し、売上高は前年同期比12,127千円増となりました。

からすま京都ホテルは、中国料理「桃李」、テイクアウトショップ「レックコート」が順調に推移し、売上高は前年同期比33,108千円増となりました。

この結果、売上高は659,788千円（前年同期比7.4%増）となりました。

その他部門

その他部門の売上高は263,418千円（前年同期比42.8%増）となりました。

前年同期と比較して増加している主な要因は、京都ホテルオークラ別邸京料理「栗田山荘」におきまして、ランチメニューの「山荘弁当」などが好調に推移していることのほか、新規事業として京都府立医科大学付属病院の病院食を開始したことや、通販部門などでレトルト商品「特製総料理長カレー」などの新商品を販売したことなどによるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第1四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)
宿泊部門	584,577	24.6
宴会部門	866,922	36.5
レストラン部門	659,788	27.8
その他部門	263,418	11.1
合計	2,374,707	100.0

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ262,688千円減少し、19,600,324千円となりました。

負債につきましても、前事業年度末に比べ117,155千円減少し、17,838,233千円となりました。

また、純資産は前事業年度末に比べ145,532千円減少し、1,762,090千円となり、自己資本比率は9.0%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想につきましては、現時点で業績に及ぼす影響を見積もることは困難であるため、平成24年2月9日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。今後の経済状況や旅行客等の動向情報を収集した上で、業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	731,864	439,028
売掛金	460,784	435,500
原材料及び貯蔵品	90,227	59,261
前払費用	71,559	75,395
繰延税金資産	34,011	121,023
未収還付法人税等	220,863	220,863
その他	14,541	14,250
貸倒引当金	△407	△248
流動資産合計	1,623,445	1,365,074
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	12,350,902	12,299,893
構築物(純額)	107,453	103,347
機械及び装置(純額)	46,623	45,171
車両運搬具(純額)	86	71
工具、器具及び備品(純額)	223,447	250,995
土地	5,049,750	5,049,750
リース資産(純額)	57,804	87,391
建設仮勘定	—	4,410
有形固定資産合計	17,836,068	17,841,030
無形固定資産		
ソフトウェア	11,525	11,223
リース資産	61,629	54,233
電話加入権	4,429	4,429
無形固定資産合計	77,584	69,886
投資その他の資産		
投資有価証券	101,206	114,671
関係会社株式	20,384	21,204
長期前払費用	131,363	121,246
差入保証金	33,027	33,027
会員権	9,500	9,500
繰延税金資産	26,162	21,613
その他	11,623	11,623
貸倒引当金	△7,353	△8,553
投資その他の資産合計	325,913	324,332
固定資産合計	18,239,567	18,235,249
資産合計	19,863,012	19,600,324

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	250,368	189,742
短期借入金	1,817,000	1,917,000
1年内返済予定の長期借入金	780,000	780,000
リース債務	55,442	47,081
未払金	517,729	679,656
未払費用	173,366	136,237
未払法人税等	12,356	6,355
前受金	59,192	80,539
預り金	128,677	140,160
前受収益	47,654	34,835
賞与引当金	—	74,490
その他	48,008	42,768
流動負債合計	3,889,796	4,128,866
固定負債		
長期借入金	12,925,000	12,560,000
リース債務	73,864	105,647
退職給付引当金	59,945	58,056
役員退職慰労引当金	42,185	35,111
長期預り保証金	964,597	950,551
固定負債合計	14,065,592	13,709,366
負債合計	17,955,388	17,838,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	950,000	950,000
資本剰余金		
資本準備金	209,363	209,363
資本剰余金合計	209,363	209,363
利益剰余金		
利益準備金	12,342	15,427
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	762,719	602,563
利益剰余金合計	775,062	617,990
自己株式	△24,546	△24,631
株主資本合計	1,909,879	1,752,722
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,256	9,368
評価・換算差額等合計	△2,256	9,368
純資産合計	1,907,623	1,762,090
負債純資産合計	19,863,012	19,600,324

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	
室料売上	576,349
料理売上	1,062,939
飲料売上	199,716
雑貨売上	129,297
その他売上	406,404
売上高合計	2,374,707
売上原価	
料理原料	311,607
飲料原料	42,806
雑貨原価	98,821
その他原価	84,417
原価合計	537,653
売上総利益	1,837,053
販売費及び一般管理費	1,928,956
営業損失(△)	△91,902
営業外収益	
受取利息	11
受取手数料	1,208
その他	1,387
営業外収益合計	2,607
営業外費用	
支払利息	85,380
雑損失	10,684
営業外費用合計	96,064
経常損失(△)	△185,358
特別損失	
固定資産除却損	23,255
貸倒引当金繰入額	1,200
特別損失合計	24,455
税引前四半期純損失(△)	△209,814
法人税、住民税及び事業税	1,539
法人税等調整額	△85,122
法人税等合計	△83,583
四半期純損失(△)	△126,231

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(4) セグメント情報等

当第1四半期累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。